

平成21年度

公開研究発表会

プログラム	
開会挨拶	13:30-13:35 東京都環境科学研究所所長 長谷川 猛
東京湾の水環境問題について	
	13:35-14:15 調査研究科 安藤 晴夫
<p>東京都は、行政目標である「10年後の東京」で東京湾の水質改善を掲げています。具体的には、年間を通じて水生生物が生存できる水環境を確保することが到達目標です。そのためには何が必要なのでしょうか。</p> <p>ここでは、あらためて「水の汚れ」とは何かということを手掛かりに、これまでの調査研究から明らかになった東京湾の水環境における現状の問題点と課題についてご紹介します。</p>	
PM2.5の環境基準の設定と今後の課題について	
	14:15-14:55 調査研究科 上野 広行
<p>平成21年9月に大気中の微小粒子状物質（PM2.5）に関する環境基準が新たに設定されました。PM2.5は、工場や自動車などの発生源から直接排出される粒子だけでなく、大気中の化学反応で生じる二次生成粒子も多く、大気中の挙動も複雑です。</p> <p>ここではPM2.5とはどういうものか、環境基準設定の経緯、都内の濃度実態、対策を検討する上での課題等についてご紹介します。</p>	
休憩14:55-15:10	
自動車のCO2排出削減に向けた取組	
	15:10-15:50 調査研究科 小谷野 眞司
<p>当研究所は、シャシダイナモメータ等で構成された自動車排出ガス計測システムを備える数少ない研究機関です。今般は、大気汚染対策に加え、地球温暖化対策として、自動車からのCO2削減に向けた取組の研究も強化しています。</p> <p>ここでは、①最新の低公害・低燃費車等の排出ガス・燃費の実態調査、②エコドライブ推進に向けた取組について紹介します。</p>	
土壌汚染への取組 —現場型簡易・迅速測定法の検討—	
	15:50-16:30 分析研究科科長 高橋 明宏
<p>近年、都内では工場跡地等の再開発に際して、重金属等による土壌汚染が確認されるケースが多く見られます。このため、環境局では土壌汚染調査における分析の迅速化、汚染範囲の絞り込みによる対策土量の減少（コストの低減）を期待して、現場対応型の簡易で迅速な分析法の公募・選定を進めています。当研究所では、それらの申請された分析技術について、作業性や分析精度などを評価してきました。</p> <p>ここでは、土壌汚染の現状と研究所で評価した簡易・迅速測定法についてご報告します。</p>	

日時：平成21年12月4日（金）13:30～16:30

場所：都民ホール（都議会議事堂1階）

入場無料どなたでも 当日先着250名

問合せ先

財団法人東京都環境整備公社

東京都環境科学研究所 広報担当

TEL03-3699-1331 Fax03-3699-1345

ホームページ：

<http://www2.kankyo.metro.tokyo.jp/kankyoken/>

